

平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 周南市地域公共交通会議



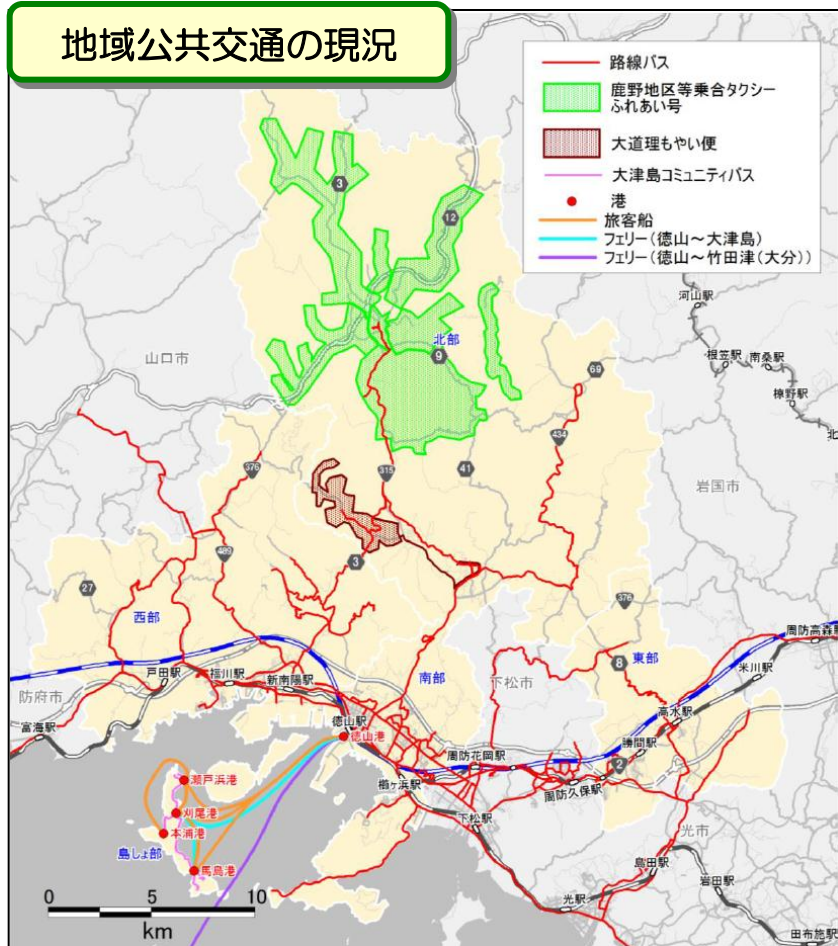
周南市の概要

- 平成15年4月21日に2市2町が合併
- 人口 147,381人（平成28年2月末現在）
- 面積 656.29平方キロメートル

周南市地域公共交通会議の構成員

中国運輸局 中国整備局 山口県 周南市 西日本旅客鉄道(株) 防長交通(株) 大津島巡航(株)
徳山地区タクシー協会 自治会連合会 老人クラブ連合会 身体障害者団体連合会
鹿野地区女性団体連絡協議会 私鉄中国地方労働組合 周南警察署 光警察署 学識経験者

地域公共交通の現況



地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR山陽新幹線 JR山陽本線 JR岩徳線
- ・航路：周防灘航路 大津島航路
- ・4条バス路線：防長交通(株) 88系統数（内臨時便4系統）、みなし4条 5系統
- ・コミュニティ交通：鹿野地区等乗合タクシーふれあい号、大津島コミュニティバス
大道理もやい便（市町村運営有償運送）
- ・タクシー営業所数：14ヶ所
- ・高齢化率 30.5%

具体的な課題・問題点

- ・徳山駅を起終点とする路線が多く、駅周辺の区間では多数の路線の重複運行が確認され、非効率な運行となっている。長大路線についても効率的な運行を妨げている要因の一つと考えられる。
- ・公共交通利用者の減少により、生活交通維持確保に係る行政負担の増加や交通事業者の経営改善の抜本的な解決策が見いだせていない。
- ・徳山駅周辺整備や立地適正化計画など、まちづくりとの連携が必要である。



調査事業の実施

調査事業の概要

- ・社会経済状況と公共交通の実態把握（地理的条件、人口分布、施設配置等の把握、公共交通機関の状況の整理等）
- ・移動実態調査及び利用者ニーズ把握（周南市全域対象アンケート、乗降調査、交通事業者、交通関係部門ヒアリング等）
- ・公共交通網の効果的な見直し案の検討（各種調査結果による課題整理、基本方針・目標設定・実施事業の検討等）
- ・地域公共交通網形成計画の策定

平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 周南市地域公共交通会議

協議会における検討

- 協議会の開催状況 5回開催
- 第2回(8月17日) 策定方針、アンケート調査方針等
 - 第3回(11月2日) 調査結果と交通課題の抽出、基本方針等
 - 第4回(12月21日) 計画に位置づける事業の検討、事業の進捗管理等
 - 第5回(1月25日) 地域公共交通網形成計画(素案)の審議
 - 第6回(3月22日) 地域公共交通網形成計画の承認、事業評価

地域住民の意見の反映

- 市民アンケート調査(H27.8~H27.9実施) 配布4000世帯、回収1566世帯(回収率39.2%)
- 大津島住民アンケート(H27.12実施) 配布203部、回収92部(回収率45.3%)
- 高校生アンケート調査(H27.10実施) 配布1520部、回収922部(回収率64.3%)
- 観光施設来訪者アンケート調査(H27.12実施) 回収数155部

事業実施の適切性

- 持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け、地域公共交通網形成計画(素案)策定に必要な各種調査が実施できた。

調査事業の結果の概要

- 各種調査結果により地域における公共交通の現状、市民の意向等を整理し、利用しやすく持続可能な公共交通ネットワークの形成のための基本理念、基本方針を策定し、本計画期間中に達成すべき目標と評価指標及び目標値を設定した。
- 目標を達成するため実施する事業を検討し、前期5年間に実施する17事業を計画に位置づけた。



生活交通確保維持改善計画の計画策定に向けた方針等

- 平成27年度周南市地域公共交通網形成計画を策定し、計画に位置づけた事業を着実に実施する。
- 平成28年度より地域公共交通再編実施計画策定に着手する。

<事業内容>

- 路線バスの見直しと利用不便への対応
- 移動ニーズに合わせた路線バスの経路再設定
- 市街地循環線の導入
- 各交通手段間の乗継ダイヤの調整
- GPSを用いた車両位置確認システムの導入
- わかりやすい情報提供の実施



公共交通ネットワークの将来イメージ